

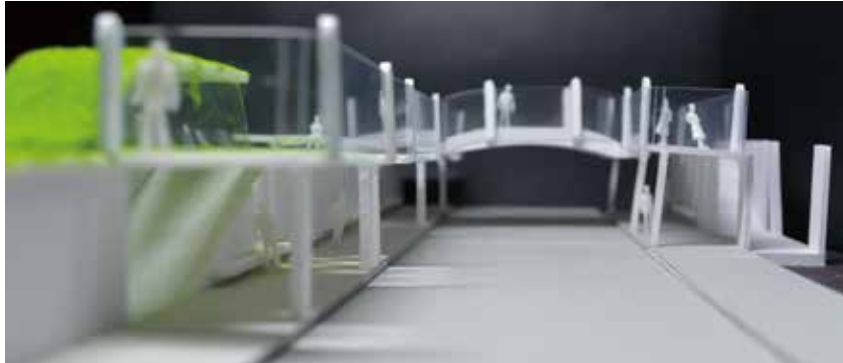
静動のかけ橋

ランニングとバス停をつなげながら馬事公苑とそれを囲む道路との境界を公園内の施設と地形を利用してデザインすることを目的としている



ランニングとバス停、そして、それを取り巻く環境は運動と静止という全く正反対の特徴を持っており、その二つの言葉のかけ橋を馬事公苑と道路の境界のデザインで表現する

二重の境界



表向きの場所と接しており道路と公園に高低差があるため、歩道の上に新しい歩道を作り、公園とつなげる



動きのあるデザイン



バス停も同じデザインとする



反対のバス停と繋げる

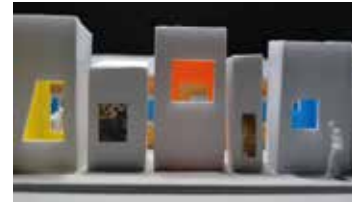


揺らぐ境界



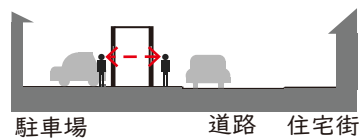
表向きの場所と接しており道路と公園に高低差がないため、境界を曖昧にして公園内に入りやすくする

覗く境界



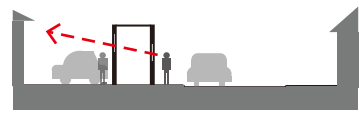
裏向きの場所と接しているため、四角い筒の両側に穴をあけたものを配置し、裏向きの場所を見ずらくしながらそれぞれの筒で異なる境界を作る

1 駐車場側と道路側の目線を合わせる



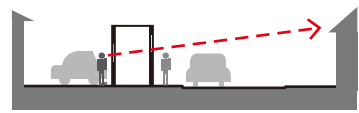
駐車場 道路 住宅街

2 道路側から建物が見える



駐車場 道路 住宅街

3 駐車場側から住宅街が見える



駐車場 道路 住宅街

見え隠れする境界



裏向きの場所と接しているため、いくつかの波の組み合わせから裏向きの場所を見にくくする

両側にも波を作り、その波を屋根や椅子として使用することができる



駐車場 道路

座る境界



表向きの場所と接しており、坂となっていて、そこに動きのある波模様を板で作る。そこに水平な板を並べることで坂の傾斜により椅子の高さを変える。また、板の高低差をなめらかにつなげて寝転がるスペースを作る



頂点部分を折り曲げて屋根を作る



椅子と平行になるように屋根を作る



公園側にも椅子を作り、両側を通り抜けられるようにする